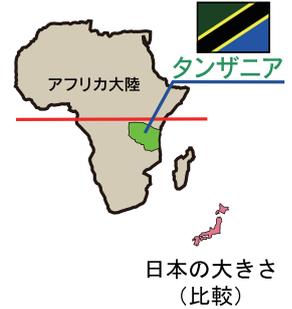




青年海外協力隊員からの便り —タンザニア (アフリカ)—



独立行政法人国際協力機構 (JICA) から青年海外協力隊員として派遣されている市職員久保智里さんからの便りを紹介します。久保さんは、平成20年6月から約2年間、タンザニアのイリング州立図書館に司書としてデータベース化や職員の資質向上の手助けを行っています。なお、イリング州は郵便や通信環境が整っていないため、まとめて届いたものを掲載します。

仕事の紹介をします。データベース化の推進、図書館業務をOJTで指導。新しいサービスの展開。との要請で赴任しました。

コンピュータは前任者によって日本からの支援で1台設置されています。現在フリーのデータベースソフトを利用しデータベース化を進めています。

担当者は前任者のカウンターパートだったのですが、現在、司書養成学校へ就学中。彼女が帰るまで、そして私が赴任するまで、秘書の1人が細々と図書館の登録を進めてくれていました。彼女が図書、私が利用者のデータベース化を行っています。

タンザニアの中央図書館はドイツからの援助で新システムを州図書館へも導入する事を決定しました。1年半ほど前に半年後には州への導入をと話していたそうですが、未だ話はありません。そこで、新システムが導入されても、中央館からのデータ提供が困難と思われる当館利用者の登録を最優先事項に進めています。新システム導入時、ママ達の混乱が目につかびます。少しでもスムーズに移行できれば、と気持ちは焦っているのですが…そんな私の気持ち

ちなど知る由もなく、Chisato-karibu chai!upunzike! (チサトー、お茶においで。休憩しなさい!)と今日もまた声がかかります。

久保 智里

▶ 図書登録を進めるママ・チャンデ。思慮深く優しい彼女は頼りになる存在です。



▲ 小休憩。誰かが持参してくれたご飯を皆で戴きます。この日は、キリマンジャロの麓に住むチャガ族の料理でした。

タンザニアに着いた当初から、思わず見とれてしまうもの。どこまでも広がる空の青さ、夕日の美しさ。たわなに実る果物。人々の逞しさ。子ども達の笑顔。そんな数ある中でも、1、2位を争うのが頭に物を載せる技術。自分の身長より長く、腰回り程もある木の束を載せ歩く人達もあれば、火がついた炭ジコ (炭を用いる調理器) を頭に載せ、その上に鍋を載せ歩く人もあり (歩きながら料理?)、大きな皿の上に果物を載せ売り歩く人 (「ハンダのびっくりプレゼント アイリーン・ブラウン 光村教育図書 2006」そのまんまの子ども達がいます)。子ども達も学校のかばん、スリッパやノートまで頭に載せて闊歩しています。おおよそ載せられる物は何でも載せて歩くのが流儀のようです。

近所の子が、水の入ったタンクを指し、一人では上げられないから頭に載せるの手伝って。と言ってきました。腕であげることができないものが頭に載せられるものかと言ったのですが、彼女は笑って、手で持てないから頭に載せるんだ。と言います。私もできる。と言われ、

チャレンジ…してみたのですが、載せる前に生命の危険を感じやめました。その後彼女は、その水が一杯に入った40%のタンクを頭に載せ何もなかったように去っていきました。

頭に大きな荷物をのせ、背中に子どもを背負い歩く女性。アフリカの大地のような逞しさを感じます。彼女達の姿勢のよさもここから来ているのでは?と背中に見とれる日々です。

久保 智里



▲ 水汲みは大切な仕事。どこから来た子ども達でしょうか、何度往復するのでしょうか。おしゃべりをしながら森の中へ消えていきました。

「三井住友海上文化財団派遣コンサート」

TROUVÈRE QUARTET

トルヴェール・クワルテット

○ **日時** 10月18日(日)

開場=午後1時30分

開演=午後2時

○ **会場** 松浦市文化会館
「ゆめホール」

チケット
発売中!

○ **料金 (全席自由)**

大人 1,000円 高校生以下 500円

(当日券は各 500円増)

※(財)三井住友海上文化財団の助成により

低料金に設定しています。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

○ **チケット取扱先** 文化会館、教育委員会、教育委員会
福島分室・鷹島分室、きらきら21、各市立公民館

○ **主催** 松浦市、松浦市教育委員会、長崎県、(財)三井住友海上文化財団

○ **問合せ先** 文化会館 ☎0956-72-5758



NOBUYA SUGAWA
須川 展也
ソプラノ・サクソフォン

SHINICHIRO HKOSAKA
彦坂 眞一郎
アルト・サクソフォン

YASUSHI ARAI
新井 靖志
テナー・サクソフォン

YASUTO TANAKA
田中 靖人
バリトン・サクソフォン

MINAKO KOYANAGI
小柳 美奈子
ピアノ

ジャイカ

JICA「青年海外協力隊」平成21年度秋募集

独立行政法人国際協力機構(以下「JICA」という)では、平成21年度の秋募集として、下記の要領で「青年海外協力隊」を募集します。

青年海外協力隊とは、技術や経験を生かして開発途上国の人々と共に生活し、相互理解を図りながら、彼らの自助努力を促進させる形で協力活動を展開していく海外でのボランティアです。

【募集人数】約1,400人

【募集分野】農林水産、加工、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、スポーツ、計画・行政の8部門、約120職種

【派遣国】アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東、計約80カ国

【募集期間】10月1日(木)～11月9日(月) 消印有効

【応募資格】満20歳～満39歳の日本国籍を持つ人

【派遣までの流れ】応募⇒一次選考(書類選考)⇒二次選考⇒派遣前訓練⇒派遣

・一次選考=所定の応募書類(健康診断書含む)に必要な事項を記入し郵送(※11月9日(月)必着)

・二次選考=面接・語学試験・健康診断・実技試験(該当職種のみ)

【派遣期間】1年間または2年間(赴任形態:単身赴任)

【待遇等】JICAの規程に基づき、往復旅費、現地生活費、住居費、国内積立金などを支給

【現職参加】JICAでは、参加しやすい環境づくりのために、企業や官庁など関係各方面に対して、所属先に身分を残したまま参加する「現職参加」促進のお願いをしています。

【体験談および説明会】入場無料、予約不要

○青年海外協力隊および日系社会青年ボランティア

10月17日(土)午後2時～ アルカス SASEBO

○シニア海外ボランティア(※)

10月22日(木)午後6時30分～ 長崎ブリックホール

(※シニア海外ボランティアの応募資格は、満40歳～満69歳)

【資料請求・問合せ先】

JICA デスク長崎 ((財)長崎県国際交流協会)

☎095-823-3931